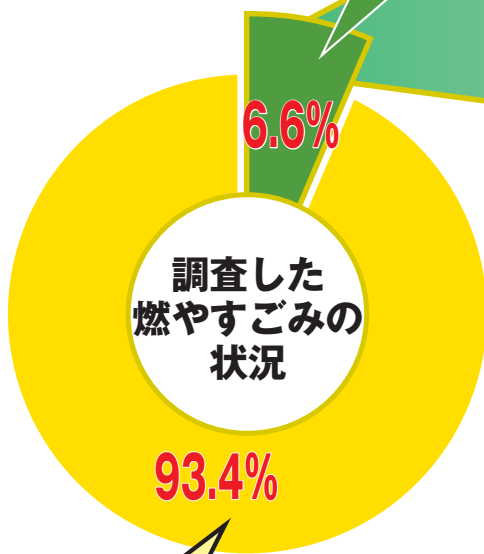


# 令和3年度 飯田市「燃やすごみ」組成調査の結果

令和3年5月21日、7月27日、9月2日に、「燃やすごみ」の組成調査を実施し、飯田市内のごみ集積所から調査目的で無作為に回収した燃やすごみ(各回5袋)の分別状況を確認しました。  
「燃やすごみ以外のごみ」の混入割合(重量比)は、前年度と比べて2.9ポイント改善し、全体の6.6%となっています。

正しく分別されず、燃やすごみに混入していたごみの割合



正しく分別されていた燃やすごみの割合(※3)



## 特に多く混入していたごみの正しい出し方

### ※1 プラスチック製容器包装(きれいなもの)やペットボトル

→コンビニ弁当容器、洗剤等の空き容器などは水でゆすぎ、汚れを落としてプラ資源(プラスチック製容器包装)の袋へ入れて排出してください。ペットボトルは、土曜日に市内各地で開催しているリサイクルステーションで回収をしています。キャップとラベルを取り、中をゆすいでつぶしてから持ち込んでください。※ペットボトルは、プラ資源に入れないで下さい。

### ※2 紙類(ティッシュ、お菓子の空き箱、紙袋など)

→ティッシュ、お菓子の空き箱、紙袋などは、雑誌やチラシなどと一緒、ひもで十字にしぼって資源ごみ(紙)として排出してください。

## 生ごみの削減、食品ロスの削減にご協力ください



※3 今年度の調査では、燃やすごみの中で、生ごみや食品ロスが30.6%を占めました。生ごみ処理機やコンポストを活用すると、生ごみの削減に効果的です。飯田市には生ごみ処理機購入に対する補助があり、補助金額は、機器購入に要した費用の1/2(上限30,000円)です。申請方法等、詳細については飯田市HPをご覧ください。また、今回の調査では、手つかずの納豆やこんにやくなどの食品ロスがありました。食品の買い過ぎに注意して、食品ロスを削減しましょう。



「もったいない」の気持ちを大切に